

■松村没後50年へ調査

南砺

旧福光町出身の元衆院議員、故松村謙三に関する資料の調査が5日、南砺市の松村記念会館で始まった。2年後の松村没後50年に向け、解明されていない資料の調査や整理に取り組む。写真



真。

同記念館には松村関連の段ボール数十箱分の資料や、軸、写真パネルなどが保管されている。松村研究者の武田知己大東文化大法学部教授は8日まで、書簡などを中心に調査。11月も学生と同館を訪れて資料の目録をつくりたいという。

同日は松村の孫、壽さん(同市福光)と濱本なほ子さん(東京)も加わり、整理に取りかかった。武田教授は「歴史の要所で大きな役割を果たした政治家。功績を見直すきっかけになればいい」と話している。武田教授は6日午後6時から福光福祉会館で「太平洋戦争への道と日本の過誤」と題し講演する。入場無料。